

みなと高等学園学校運営協議会（コミュニティ・スクール）  
令和4年度 第2回会議 <議事録>

日 時 令和4年10月1日（土）  
午前11時30分から午後零時30分まで  
場 所 みなと高等学園 3階研修室

(1) 開 会

(2) 出席委員

(敬称略)

発達障がい者総合支援ゾーン関係	桑村 真由美
行政関係	四宮 佐智
発達障がい者総合支援ゾーン関係	島本 敬子
発達障がい者総合支援ゾーン関係	島本 耕志
就労・実習関係	庄野 忠雄
学識経験者	高原 光恵
就労・実習関係	宮城 弘明
学校(PTA会長)	時本 貴実子
学校(校長)	佐尾山 秀樹

(3) 学校長挨拶

○みな☆まつり（文化祭）参観のお礼，日頃の各委員の学校運営への協力について謝辞を述べた。

(4) 協 議

① 学校評価について中間報告（教頭より）

○各目標の前期における達成状況について，各担当教頭から報告した。  
○各委員から，達成状況について数点質問があり，詳細を説明した。

② 地域との連携に関する取組について（教頭より）

○前期における地域との連携について，報告した。  
○今後，予定している地域との連携について，説明した。

③ 各委員からの提言等について

(委員より)

○安全教育「交通安全教室」についてどのような取組か。

(学校より)

○小松島警察署と広沢自動車学校の協力により自転車運転シュミレーターを使い，自転車の安全な乗り方について講習した。シュミレーターの大きな画面で臨場感があり，周りで見ている生徒も共有できた。今後も事故防止，安全教育に取り組んでいく。

(委員より)

○みな☆まつりの表現では，感染症防止対策のため3年生の保護者のみの参観となった。1・2年生の保護者に対して情報システム科の生徒がDVD編集して提供するのはいかがでしょうか。

(学校より)

- 個人情報の取扱いについては、生徒一人ひとりの意志が異なるので、校外へ動画を出すことは難しい。
- 参観日に、保護者に校内で動画を見ていただこうと計画している。

(委員より)

- スーパーオンリーワンハイスクール事業で、新商品の開発としてパンを選んだ理由は何か。また、協力会社とどのようにしてつながったのか。

(学校より)

- 昨年度より、生産サービス科で製パンを試し始めており、寄贈された発酵や焼成に必要な機械を使って商品開発に関する学習を進めようとしていたところ、本事業の認定校となった。特別支援学校と何かコラボできることはないかと探していた会社から、協力を得られることとなった。
- 新商品については試作中であり、周辺施設の方にも試食していただき、商品についてのご意見を伺いたいと考えている。

(委員より)

- 家庭と学校との連携を密にしていくと、一層教育効果が上がるのではないか。
- 自分の子どもに関係する行事や学習の他は、どのような活動がなされているかをあまり知らない。
- 実体験を伴う活動時には、生徒の目の輝きが違う。そのことを保護者の方にも伝えてほしい。

(学校より)

- 様々な活動を家庭へ発信できるように工夫していきたい。
- 保護者面談を定期的に行い、2年生の後期には進路に関する拡大進路相談を個々の生徒について行っている。
- 今年度、1年生では臨時の保護者会を開催した。SNSでのトラブルについて保護者にも説明し、協力を求めた。

(委員より)

- 中学校の特別支援学級に対して、みなと高等学園のPRの場所があれば良いのでは。就業体験や卒業後の就労に向けた取組が強みなので、PRしてはどうか。

(学校より)

- 特別支援学級を設置している中学校へ校長、教頭が出向いて学校紹介を行っている。昨年度は25校、今年度は12校を訪問した。直接、生徒や保護者と話すことはできていないが、特別支援学級担当者や管理職に向けて紹介や説明をしている。
- 特別支援学校に関心のない生徒や、特別支援学校への進学を迷っている生徒、保護者への本校教育内容の伝え方について、良い方法があれば教えていただきたい。

(委員より)

○みなとの生徒さんとの交流活動が施設の子どもたちにとって、よい経験になっている。触れ合いを通した社会体験が、もっとできればよい。

○献血キャンペーンの協力は大変ありがたい。今後も続けてほしい。

(5) その他 (事務連絡)

第3回の実施日について

(6) 閉 会